

授業科目 神経科学（新カリキュラム：H18年度から開講予定）

【担当教員名】 今村 徹		対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【＜概要＞】 神経科学（Neuroscience）は神経系の正常機能・構造の理解に裏付けられた論理的な思考によって、神経系を障害する疾患の基礎を理解することを目的とし、後期に開講する『臨床神経学』の先行科目と位置付けられる。授業では、1年次で学習した内容を含む生理学・解剖学の知識・理論と神経疾患の理解が密接に結びついた領域を題材とする。1日の授業の中で、①神経生理学・神経解剖学、②実際の臨床場面で用いられる診察・検査法、③代表的な疾患の理解、にいたるまでを一連の流れとして学ぶ。授業中の演習課題とともに、予習項目と復習課題を授業ごとに指示する。					
【＜学習目標＞】 神経疾患を逐次的に暗記することよりも、神経科学の論理的な考え方、すなわち神経生理学・神経解剖学に裏打ちされた神経疾患の病態理解を身に付けることが目的である。					
回数	授業計画又は学習の主題				学習方法・学習課題又は備考
	末梢神経系	以下の3つの主題について計7回の授業を行う。 具体的な日程は生理学実習Ⅱの予定との調整後に改めて通知する。 下位運動ニューロンと末梢神経の解剖学・生理学 神経伝導速度検査 末梢神経疾患・神経筋接合部疾患			担当教員：今村 徹 学生を被検者とする神経伝導速度検査の演習を含む
	脊髄	上位運動ニューロン、体性感覚系と脊髄の解剖学・生理学 神経学的診察 脊髄疾患			学生同士を対象とする筋伸張反射診察の演習を含む
	脳	頭蓋内中枢神経系の解剖学 頭部MRI、MRA画像検査 脳血管障害			頭部MRI、MRA画像の読影の演習を含む
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		簡要神経学	岩田誠，岩田淳訳	MEDSI	2000年，3800円，ISBN：4-89592-2
		ベッドサイドの神経の診かた	田崎義明，斎藤佳雄	南山堂	1994年，7200円，ISBN：4-525-247
参考書（授業中グループに1冊貸与）		画像診断のための脳解剖と機能系	久留裕，真柳佳昭訳	医学書院	1995年，19000円，ISBN：4-260-13
その他の資料		適宜配布する			
【評価方法】 定期試験による。（定期試験の受験許可は授業中の課題と予習課題、復習課題の理解、提出を前提とする）		【履修上の留意点】 旧カリキュラムにおける『臨床神経学』（理学療法学科：前期15時間），『神経内科学Ⅰ』（作業療法学科），『神経系の機能・構造・病態』（言語聴覚学科）が本科目に移行する。			